



# 国産デュラムコムギの栽培体系構築

農学部 応用生物科学科 助教 水田 圭祐  
食料生産学領域

## 研究シーズの概要

デュラムコムギは主にパスタの原料になるコムギで、日本では消費量の99%以上を海外からの輸入に頼っています。日本でデュラムコムギが栽培されない理由は、降水量の多さから発生する病害に弱いことや高品質と多収の両立が難しいこと、二毛作への導入が難しいこと等があります。これらの課題は、農薬の散布量を増やして窒素肥料の投入量を増やせば解決できますが、同時に環境への負荷も高めてしまいます。本研究室では、農薬に頼らない病害の発生低減方法や画像による生育診断技術の開発、診断結果を利用した追肥量の最適化、Agroforestry Systemによる二毛作に影響しないコムギ栽培について研究しています。デュラムコムギは、香川県の特産品であるオリーブやニンニク、香川本鷹等と組み合わせやすいため、栽培できれば新たな商品の開発や6次産業化につながれると考えています。



図1. 普通系コムギとデュラムコムギ

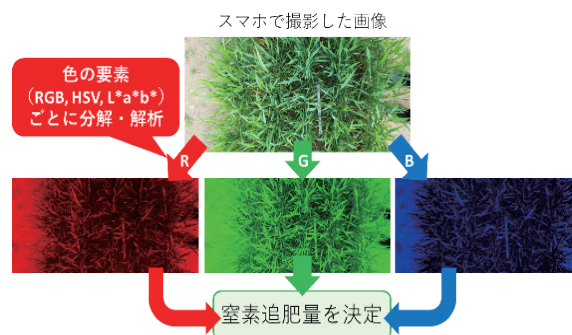


図2. 画像による生育診断のイメージ

【利用が見込まれる分野】 農業生産（コムギ生産）、食品製造・加工、飲食品小売業、環境関連分野

## 研究者プロフィール

水田 圭祐



ミズタ ケイスケ

メールアドレス mizuta.keisuke@kagawa-u.ac.jp  
所属学科等 農学部 応用生物科学科  
所属専攻等 食料生産学領域  
職位 助教  
学位 博士（農学）  
研究キーワード コムギ、作物栽培、植物生理・生態

問い合わせ番号：AG-22-005

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで  
直通電話番号：087-832-1672 メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp